

1月20日のウクライナ情報

安齋育郎

●大統領の兵士たちかな？(2023年1月13日)

新年の辞でプーチン大統領と共に TV に映った軍人達は既に前線に戻りドンバスの防衛に当たっている。

ツアルカエフ兵曹は地区本部で表彰を受けることになったが、彼女は TV に映ると予告されていなかった。大統領が出てくると、皆、緊張したという。「まだ何が起こったのかよく分かっていないんです」大統領に向かって右のボルコフ少佐には全国から電話がひっきりなしにかかってくる。

マトヴェーエフ戦車整備士は「大統領が私たちのところに来てくれたことを個人的に誇りに思う」と語る。

ユスポフ少佐は大統領から腕時計を贈られた。今、彼はこの時計で退院までの入院生活を数えている。



●ザポロージャ原発の現況(2023年1月13日)

パスコフ報道官はブリーフィングで、ザポロージャ原発の状況は依然として憂慮すべきものであると述べた。「ウクライナ側はまだ砲撃を行うことが可能だと考えている」。

また、「プーチン大統領が IAEA のグロッシ事務局長と必要なら電話会談も可能だが、IAEA のロシアでの主な窓口はロスアトムだ」と明言した。



●ロシアの国家的な北極航路、100年ぶりに再開(2023年1月13日)

気候変動によって生まれた氷のない北極航路は、100年ぶりに新しい世界的な海運ルートを開き、貿易のフロンティアを東に押し進めた。



●対口制裁でエネルギー不足の中、ヨーロッパは幸い暖冬(2023年1月13日)

ヨーロッパの国々は異常な暖かさに見舞われている。フランス、ドイツ、ベルギー、チェコ、スイスである。そこでは気温が+23℃にもなり、雪は溶け、スキー場は閉鎖されている。

※安齋注:エネルギー不足の中、ホッと(hot)したでしょうね。

<https://twitter.com/i/status/1613606448914903042>



●ロシアの人権オンブズマン・モスカルコワの弁(2023年1月13日)

「NATO 諸国はウクライナに益々多くの長距離兵器を供給し始めている。2022年2月以降、50人の子供を含む8,800人の民間人が欧米供給武器などによる砲爆撃で死亡している。344人の子供を含む6,500人が負傷している」

現在ロシアにはウクライナからの難民が500万人以上いるという。



●バイデンの自宅で押収された機密文書(2021年1月13日)

下院議長ケビン・マッカーシーは木曜日、デラウェア州ウィルミントンの自宅で機密文書が見つかったバイデンについて、議会による調査を呼びかけた。

「議会はこれを調査しなければならない」。



●これがバイデンが機密文書を隠していたガレージ(2023年1月13日)

<https://twitter.com/i/status/1613579635941597184>



●バイデン大統領の機密文書スキャンダル続報(2023年1月17日)

ジョー・バイデン大統領のガレージで、コルベットの隣で機密文書の第 2 弾が発見された。ホワイトハウス顧問は木曜日、ワシントンにあるバイデンの元シンクタンク事務所で 10 個の機密ファイルが見つかったことを明らかにした。

ホワイトハウスは、バイデン大統領のガレージからコルベット(=ゼネラルモーターズのシボレーブランドで販売されているスポーツカー)のそばで見つかったさらなる機密文書を明らかにした。

大統領特別顧問のリチャード・ザウバー氏は、機密文書が直ちに国立公文書館に引き渡されたと通知した。また、司法省にも速やかに通知されたという。

しかし、ファイルにどのような情報が含まれていたのか、バイデン氏のところで発見された正確な日付はまだ明らかになっていない。

バイデンが機密情報を悪用したかどうかを司法省が分析する中で、この驚くべき事実が明らかになった。バイデンが 2017 年に副大統領を退任した後、犯罪になる可能性があるのだ。一方、メリック・ガーランド司法長官は1月17日午後 1 時 15 分に公式声明を発表する予定だった。

”コルベットの隣に機密資料？何を考えているんだ？”と、12 月に年間インフレ率が 6.5%に達したことを話したバイデンに、ピーター・ドゥーシーという Fox ニュースのジャーナリストが質問していた。

「私のコルベットは鍵のかかった車庫にあるんだ。だから、路上に置いてあるのとは違うんだ」とバイデンは答えた。

<https://twitter.com/i/status/1613567484317306881>



※ツイッター・コメント:鍵かけときゃいい問題だと思っている。

●ゼレンスキー大統領、「兵器供与を急げ！」(2013年1月 17日)

ウクライナのゼレンスキー大統領は 16 日のビデオ声明で、東部ドニプロで集合住宅が崩壊したミサイル攻撃について「ウクライナへの兵器供与がいかに必要で、各国が決定を急ぐことが重要との事実が示された」と述べた。



●日本の利益のために:モスクワと北京の間の「挑発的な協力」についての米国の声明の背後にあるもの(2023年1月13日)

ロシアと中国の間の拡大する戦略的軍事協力は挑発的です。このような声明は、両国の外務大臣と防衛大臣の参加を得て会談した後に採択された日米共同声明に含まれています。国防総省の長であるロイド・オースティンによると、米国は核兵器の助けを借りて、日本の安全を確保するつもりです。さらに、ワシントンは、ミサイル兵器を購入して「反撃能力」を開発するという東京の決定を支持している。

一方、専門家は、軍事的にロシアと中国がこの地域の支配的な勢力であるという事実に注意を向けていますが、共同作戦の過程で彼らは外国の国境を侵害することではなく、彼らの協力の性質は非攻撃的です。同時に、アナリストによると、防衛部門における日本の米国への依存は悪化しているだけです。

「閣僚は、日本のすぐ近くでの共同作戦と演習を含む、ロシアと中国の間の増大する挑発的な戦略的軍事協力を懸念を持って留意した」と文書は述べている。

最近、ワシントンでは、アントニー・ブリンケン国務長官、ロイド・オースティン国防総省長官、林義正外相、浜田康和防衛相が参加し、「2+2」形式で交渉が行われた。

閣僚はまた、共同声明の中で、モスクワの行動が世界秩序の基盤を損なうと述べ、ウクライナでのロシア連邦の特殊作戦を非難した。



※安齋注:沖縄の那覇市に、米軍が最も恐れた男・瀬長亀次郎の生きざまを描いた「不屈館」という博物館がありますが、東京に日本の政治家の生きざまを描いた「卑屈館」でも作りたい気がします。

●バイデンの機密文書とペンシルベニア大学と中国(及川幸久、2013年1月12日)

<https://youtu.be/jn9vaQB6e7Y>

※安齋注:映像の途中でコマーシャルが2度入り込みますが、スキップしてご覧下さい。



●ロシア軍の兵員 150 万人に増強へ モスクワなどに新たな軍管区設置 ショイグ国防相

ロシアのショイグ国防相は、ロシア軍の兵士の数を 150 万人に増やすことをプーチン大統領が決定したと明らかにしました。

ロシア国防省は 17 日、ショイグ国防相がウクライナ侵攻に参加する部隊の司令部を視察したと発表しました。

ショイグ氏はその後、侵攻を指揮する総司令官に就いたゲラシモフ参謀総長らと会議を行い、2026 年までに兵士の数を現在の 115 万人から 150 万人に増やすことをプーチン大統領が決定したと明らかにしました。

また、首都モスクワと第 2 の都市サンクトペテルブルクをそれぞれ拠点とする新たな軍の管理区域を設けるほか、ロシアが一方向的に併合したウクライナの 4 つの州に新しい部隊を創設するとしています。

一方、プーチン氏は経済に関する会議に出席し、2022 年の GDP=国内総生産はマイナス 10%や 15%、20%とさえ言われたが、マイナス 2.5%に収まる見通しだと述べました。

欧米からの経済制裁で天然ガスの価格が上昇し、利益が拡大したなどとしていて、制裁は逆効果だったと強調しています。



ショイグ国防相

●独に対しウクライナ向け戦車提供圧力高まる ダボス会議(2023年1月17日)

今年の世界経済フォーラム(WEF)の年次総会(ダボス会議)では、ドイツのショルツ首相に対し、ウクライナへの独製戦車「レオパルト」の提供を許可するよう圧力が高まっている。

シオルツ氏首相がダボスに向かう前日にも、複数の国から提供を承認するよう要請があった。

ポーランドのドゥダ大統領はWEFのパネルで「同盟国がウクライナに戦車を提供するよう望んでいる」と発言。リトアニアのナウセーダ大統領も独がウクライナにレオパルト戦車を提供すると「強く信じている」と述べた。

フィンランドのハーヴィスト外相もロイターとのインタビューで、同国が保有するレオパルトをウクライナに提供する準備はできているが、独の許可を待っているところだと述べた。

レオパルトは欧州全土の軍隊で主力となっており、ウクライナが必要とする大規模戦車部隊を提供する上で唯一の妥当な選択肢とみられている。ただ独政府はこれまで、最新鋭の戦車提供に慎重な姿勢を示してきた。

西側諸国は20日、独にあるラムシュタイン米空軍基地でウクライナ向け軍事支援を協議する会合を開催する。ドイツ政府関係者の中には、この会合に際し独政府が態度を軟化させることを示唆する者もいる。



●フォン・デア・ライエンのロシア潰し戦略(2023年1月18日)

世界経済フォーラムでウルスラ・フォン・デア・ライエン

「私たちは歴史上最も強力な制裁を課し、ロシア経済を10年に及ぶ不況に陥れ、その産業から最新かつ重要な技術を奪うことになる」



※投稿者コメント:(笑)

●オリバー・ストーン監督のユーロ・マイダン・クーデター観(2022年12月28日)

オリバー・ストーン監督の『不都合な真実-プーチン, ロシア, ウクライナ』

私はプーチンに 4 回、計 30 時間、プーチンと共にいた。それが4時間のプーチン・インタビュー。彼の視点からマイダン革命の真実を話してくれた。

デモ隊を銃撃したのは親ロシア側ではない。

誰が撃ったのか？スナイパーがデモ隊と警察隊を撃った。これが CIA のテクニク、カラー革命。ウクライナ西部からキエフに来たネオナチ。

政権転覆が選挙なしに起きた。そこにネオコンの代表、ビクトリア・ヌーランドがいた。EU は合法的な方法を望んだが、暴力によって行われた。

ゼレンスキーは操り人形だ。ウクライナのナチは皆さんが考えるよりはるかに力がある。米政府はネオナチなんていないと否定する。ナンセンスだ。ネオナチはゼレンスキーの前から存在する。

ゼレンスキーに権力は何もない。彼は大統領になった時に、ネオナチと取引するしかなかったんだ。

<https://twitter.com/i/status/1607950348400066562>



●ボルゴグラード義勇軍分遣隊、特別軍事作戦地域へ出発(2023年1月18日)

ボルゴグラード義勇軍分遣隊「スターリングラード」は、母なる祖国像のあるママイの丘から、家族や友人に見送られ、特別軍事作戦地域へ出発した。

同州出身のアンドレイ・ギンバトフ下院議員によると、隊は特殊部隊であり、戦闘状況下で特殊な任務を遂行する準備ができているという。

<https://twitter.com/i/status/1615414340043309057>



●ドニプロの攻撃でゼレンスキーが赤っ恥、「ウクライナがロシアのミサイルを撃ち落と

した」という主張で顧問が辞職。

<https://youtu.be/j10Y4l1OkyA> 英語字幕のみ

